平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場会社名　マガシーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3060　URL　http://www.magaseek.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　直也
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 田中　宏樹　TEL 03-5212-5296
四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,316	10.3	66	—	68	—	38	—
23年3月期第2四半期	3,912	△0.7	△3	—	0	—	△1	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,815.24	—
23年3月期第2四半期	△85.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	3,976	2,823	71.0	133,243.40
23年3月期	3,996	2,814	70.4	132,844.15

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　2,823百万円　23年3月期　2,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,416.00	1,416.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	2,832.00	2,832.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	18.1	343	89.6	345	97.0	200	100.6	9,438.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

（注） 詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	21,190 株	23年3月期	21,190 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	21,190 株	23年3月期2Q	21,190 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成23年10月28日（金）に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）追加情報 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による直接被害とその後の電力供給の制約等による景気の停滞から徐々に回復に向けた動きが見られたものの、米国経済の悪化や欧州の財政危機の影響を受けた記録的な円高が続き、今後の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する衣料小売業界におきましても、震災直後の自粛ムードによる消費の落ち込みからは回復基調にあるものの、依然として低迷状況が続きました。

このような環境の中、売上拡大のためにさまざまな施策に取り組んでまいりました。

プロモーション活動としては、提携ファッション誌とのコラボ企画などのコンテンツ強化及びお客様ニーズにあった人気ブランドの新規導入を進めながら、当社独自の編集企画の充実を図ってまいりました。また、東日本大震災の復興支援の一環として、ファッション誌と連携したチャリティーイベント企画を行いました。

新規会員獲得策としては、新たに街頭キャンペーンやTwitterキャンペーンなどを実施いたしました。

これらの施策により、総会員数は、当第２四半期累計期間中に10万人増加し、平成23年９月末現在145万７千人（前年同期末比18.6％増）となりました。

以上の結果、当社の当第２四半期累計期間の売上高は4,316百万円（前年同期比10.3％増）、営業利益は66百万円（前年同期は営業損失３百万円）、経常利益は68百万円（前年同期は経常利益０百万円）、四半期純利益は38百万円（前年同期は四半期純損失１百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

① マガシーク事業

当事業は、ファッション誌に掲載された商品や人気ファッションブランドの商品をインターネットで購入できる総合ファッションECサイト「magaseek」を運営いたしており、当事業における平成23年９月末現在の取り扱いブランド数は780となりました。

なお、当事業で運営しておりましたファッションECサイト「magaseek」とメンズファッションECサイト「mfm」は、５月30日に統合し総合ファッションECサイト「magaseek」としてリニューアルいたしました。

当事業の実施施策につきましては、「CanCam」「with」「InRed」「LEE」「Ray」「Men's JOKER」などの各提携ファッション誌との誌面連動通販企画の強化を行いながら、各ブランドの品ぞろえを実店舗の店頭同等に充実させることに注力いたしました。企画特集として人気ブランドの先行受注会の開催や、オフプライスコーナーの設置、夏のセール期の福袋販売などを行いました。また、東日本大震災復興支援として、出版社と連携したチャリティーイベントの開催や、「世界中の妊婦と赤ちゃんの命を救う」ことを目的とした国際的な“ホワイトリボン運動”に賛同し、ファッション誌「ＶＥＲＹ」とのチャリティーコラボ通販を実施いたしました。

さらに、30代から40代女性のファッションニーズに応えるため、９月１日より大人の女性に向けたファッションカテゴリー「CLASS」をオープンいたしました。加えて、以前より強化しているセレクトショップの品ぞろえを拡充し、ビューティアンドユース、シップスなど人気ブランドの取り扱いを開始いたしました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は3,556百万円（同15.7％増）、セグメント利益は244百万円（同163.5％増）となりました。

② アウトレットピーク事業

当事業は、人気ファッションブランドをインターネット上において常時アウトレット価格で販売するECサイト「OUTLET PEAK」を運営いたしており、平成23年９月末現在の取り扱いブランドは313となりました（マガシーク事業と共通な取り扱いブランドを含む）。

東日本大震災では、当事業の営業倉庫の業務に大きな影響があり、一時営業を停止しておりましたが、４月８日より再開し、より魅力的で価値ある商品の拡充に努めてまいりました。

当事業の実施施策につきましては、スーパーバーゲンの実施、期間限定ブランドセール販売等を実施しつつ、比較的高単価なアイテムの取り扱いを拡充いたしました。しかしながら、セール期以外において百貨店やファッションビル等の実店舗における値下げ販売が加速し「magaseek」サイトにおいても値下げ販売を実施したため、アウトレット商品の需要に大きな影響を及ぼしました。集客増加のための対抗策として、新たなブランドを導入し魅力的なアウトレット商品の増加に注力したものの、商品の確保を十分に行うことができませんでした。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は757百万円（同9.2％減）、セグメント利益は17百万円（同11.5％減）となりました。

③ その他事業

広告事業等を行っており、当第２四半期累計期間の売上高は２百万円（同44.2％減）、セグメント損失は12百万円（同152.3％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末の総資産額は、3,976百万円となり、前事業年度末と比較して20百万円減少いたしました。主な要因は、有価証券1,000百万円及びソフトウェア仮勘定56百万円が増加したものの、現金及び預金317百万円、売掛金647百万円、工具、器具及び備品33百万円及びソフトウエア76百万円が減少したことによるものであります。

負債総額は1,153百万円となり、前事業年度末と比較して28百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金が99百万円増加したものの、未払金が92百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,823百万円となり、前事業年度末と比較して８百万円増加いたしました。主な要因は剰余金の配当により30百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により38百万円増加したことによるものであり、自己資本比率は71.0％となりました。

〈キャッシュ・フローの状況〉

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末から682百万円増加し、2,343百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は801百万円となりました。これは主に未払金の減少額80百万円の資金の減少要因があったものの、減価償却費135百万円、売上債権の減少額647百万円及び仕入債務の増加額99百万円による資金の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は91百万円となりました。これは有形固定資産の取得１百万円及び無形固定資産の取得90百万円による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は27百万円となりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第２四半期累計期間における業績の進捗を勘案して見直しを行った結果、平成23年４月27日に公表いたしました平成24年３月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年10月25日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

当社が保有する販売基幹システムに対応する工具、器具及び備品とソフトウエアは、従来、耐用年数を５年として減価償却を行っておりましたが、その一部について、第１四半期会計期間において、受注増加に対応するパフォーマンス向上を目的としたシステムのリニューアルをすることに伴い、耐用年数を３年に見直し、将来にわたり変更しております。

その結果、従来の方法に比較して当第２四半期累計期間において減価償却費が37,366千円多く計上され、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,059,025	741,484
売掛金	1,002,502	354,603
有価証券	601,302	1,601,597
商品	411,998	414,480
貯蔵品	4,285	5,700
前払費用	17,488	18,598
繰延税金資産	36,607	50,786
未収入金	29,881	11,327
その他	－	1,432
流動資産合計	3,163,091	3,200,011
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	28,173	26,772
工具、器具及び備品（純額）	183,960	150,587
有形固定資産合計	212,134	177,359
無形固定資産		
商標権	31,760	28,008
ソフトウエア	497,182	420,966
ソフトウエア仮勘定	9,485	66,480
無形固定資産合計	538,427	515,455
投資その他の資産		
長期前払費用	245	16
繰延税金資産	5,675	6,525
敷金	77,261	77,261
投資その他の資産合計	83,181	83,803
固定資産合計	833,742	776,618
資産合計	3,996,834	3,976,630

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	717,318	816,838
未払金	282,001	189,423
未払法人税等	66,250	48,888
賞与引当金	19,201	20,071
返品調整引当金	5,706	4,694
ポイント引当金	16,009	32,957
その他	60,062	23,710
流動負債合計	1,166,550	1,136,584
固定負債		
退職給付引当金	9,776	11,027
資産除去債務	5,538	5,591
固定負債合計	15,315	16,618
負債合計	1,181,866	1,153,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,618	1,156,618
資本剰余金	755,625	755,625
利益剰余金	902,724	911,184
株主資本合計	2,814,967	2,823,427
純資産合計	2,814,967	2,823,427
負債純資産合計	3,996,834	3,976,630

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	3,912,368	4,316,915
売上原価	2,963,238	3,187,943
売上総利益	949,130	1,128,971
返品調整引当金戻入額	5,556	5,706
返品調整引当金繰入額	5,435	4,694
差引売上総利益	949,250	1,129,983
販売費及び一般管理費	952,319	1,063,148
営業利益又は営業損失（△）	△3,068	66,835
営業外収益		
受取利息	263	369
債務勘定整理益	－	728
法人税等還付加算金	3,229	－
その他	429	496
営業外収益合計	3,922	1,594
経常利益	853	68,429
特別利益		
固定資産売却益	160	－
特別利益合計	160	－
特別損失		
固定資産売却損	12	－
固定資産除却損	128	316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	－
特別損失合計	1,110	316
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△97	68,113
法人税、住民税及び事業税	1,145	44,678
法人税等調整額	564	△15,029
法人税等合計	1,709	29,648
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,807	38,465

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△97	68,113
減価償却費	94,227	135,001
賞与引当金の増減額（△は減少）	922	869
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△120	△1,011
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△982	16,947
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,187	1,250
受取利息	△263	△369
固定資産売却損益（△は益）	△147	－
固定資産除却損	128	316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	－
売上債権の増減額（△は増加）	△7,892	647,898
たな卸資産の増減額（△は増加）	△80,761	△3,896
未収入金の増減額（△は増加）	38,884	18,554
仕入債務の増減額（△は減少）	74,546	99,519
未払金の増減額（△は減少）	△21,099	△80,417
その他	30,985	△40,048
小計	130,489	862,727
利息の受取額	263	369
法人税等の支払額	△1,145	△61,646
法人税等の還付額	103,386	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,994	801,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,621	△1,056
有形固定資産の売却による収入	200	－
無形固定資産の取得による支出	△20,931	△90,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,352	△91,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△29,850	△27,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,850	△27,036
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	169,791	682,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,376,350	1,660,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,546,142	2,343,082

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。